



# 泉中リアル 5月号

自立 共生 そして 挑戦

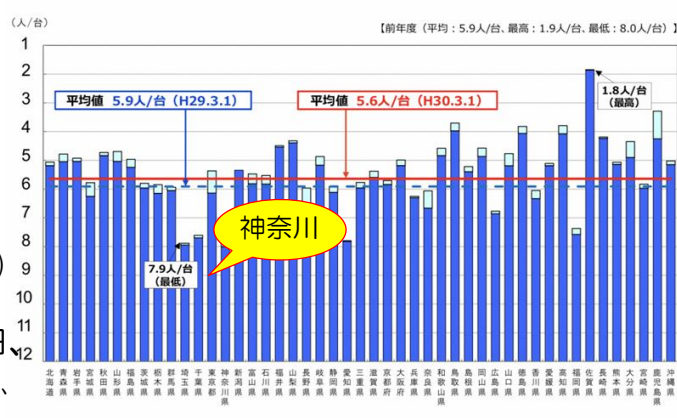
令和元年 5月 31日

発行者：学校長 小菅隆司  
電話：045(802)8797

学校は生徒だけが学ぶところではありません。  
我々、教員も学び続けなければなりません。 学校長 小菅 隆司

今、学校では、年度初の定期テストの直前です。受験年度の3年生は当然ですが、新1年生もその準備に余念はありません。試験範囲が提示されると同時に「どんな問題だろう」と気になり出します。当然、先生への質問も多くなり、授業の雰囲気が変わります。ここで、雰囲気が変わらない生徒は、少し心配。強く叱らず、関心を高めるようアドバイス。それでもダメなら……次回に期待します。(笑) 生徒だけではありません。実は、この時期、我々も勉強しているのです。私自身も、先日、5月22日、23日と「第70回全日本中学校校長会総会」に参加し、情報収集とレクチャーを受けてきました。

①教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数



年1回、恒例の文部科学省の中等教育課より、今後の教育方針が説明されます。我々校長達はそれぞれ自校で、その方針をどう展開するか、教育内容をどう変えていくかを考えなくてはなりません。配られる資料は、600ページの分厚い冊子。厚さ3cm、重さは約1kgに及び大量なもの。駆け足の2時間ほどで説明されます。(後で、じっくりよく読んで、という事ですよ。もちろん)

## 誰もいない校長室<校長コラム>

「チクる」って、本当に悪い事ですか？

先日、泉中の生徒の会話で気になる言葉を聞いた。「嫌だよな。あいつ、何でもすぐ先生にチクるからさ」この言葉の裏には、「あの程度のこと」で、先生に言うのは本当に迷惑、呼び出されてしまうのは勘弁だ、という自分本位の妙な被害者意識がある。実は、内容が大事(材)トでなければ呼び出されたりはしない。呼び出され指導受けるのは、「チクられた」からではなく、「大事な事」だから、である。大人社会、世の中には、「内部告発」という言葉がある。組織内の不正や不具合、表面に出ない不満も含め、隠蔽されがちな事実を「正しくしよう」「間違いを正そう」と、表にすることである。もちろん大事でなければ、それも取り上げられたり、大きな問題になることはない。今、話題の乱脈経営の自動車会社や少し前、大騒ぎになった中央官庁群、いつぞやの賞味期限偽装の食品会社など、内部告発により不正が表に出るケースは多い。映画にもなった小説「空飛ぶタイヤ」も、自動車製造業の隠蔽体質と内部告発の対立が題材だ。告発時には大騒ぎとなり大変だが、最後は不正は除去され、健全体質を取り戻し、ハッピーエンド。ただし、その為には、告発者を守り、内容を適正に判断し、対応する事が大切なのは言うまでもない。学校でチクる事は悪い事ではない。隠したり、見逃したり、どうでも良いと思う方が、悪いに決まっている。泉中を本当に良くしていく為には、「正しくチクる」事は大切だ。生徒は先生を信じて欲しい。必ず守るから……

## 〇令和3年から全面実施の新指導要領

国の方針ですので、1、2年先の話が中心です。今回は、新指導要領関連が多くなりました。主な改善点は、以下の通りです。

- ①言語活動、表現活動の確実な育成
- ②課題発見・解決型の理数教育の充実
- ③外国語教育の充実<小学校は更に大きく改善>
- ④伝統や文化に関する教育の充実
- ⑤体験活動(自然・職場など)の充実
- ⑥情報活用能力の充実
- ⑦現代的諸課題への対応

(政治、税、社会保障、契約・消費、災害、オリパラなど) 今後、教育の重点が変わることで、評価の仕方も変わります。(以前、御説明した評価観点の変更) 全体に「より生活に役立つ、生きるための教育」という側面が強くなったと思います。

ひとつ「情報活用能力の充実」の説明でショックだったのが、神奈川県が最もICT整備が遅れている、と報告を受けたことでした。(上グヲ参照)

最近、情報活用だけでなく、生徒指導上の情報モラル教育も大切と考えていただけない、環境整備には学校独自の方策も別途必要かもしれません。

これら「新指導要領での変化」に応じた本校の方策・施策については、今後2年間にわたり、順次御説明していく予定です。

# 百花繚乱 未来に向けて <未来につながる今をご紹介>

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

## 修学旅行（文責：小笠原）

Let's learn Japanese culture and history!～見て、感じて、楽しもう奈良・京都～

3年生は5月10～12日に修学旅行へ行ってきました。大型連休が明けてから時間がない中での修学旅行でしたが、昨年度から事前準備をしっかりとってきたのでスムーズに当日を迎えることができましたと思います。当日は3日間すべて快晴で、横浜よりも10度近く気温が高く、半袖で調度良いくらいでした。こんがり和小麦色に焼けた子どもたちの姿は、修学旅行を通して成長した証なのではないかと思えます。



鹿さん可愛い

1日目は東大寺、奈良公園での班別行動をし、後半はクラスごとにまとまって法隆寺を見学しました。

奈良の大仏の大きさに感動した子どもたちでしたが、南大門の外にいる「鹿」への興味が勝り、すぐに奈良公園へ移動している班がちらほら…なかなかできない体験を楽しんでいました。

2日目は午前中は徒歩で京都を散策し、午後はタクシーに乗って京都をまわっていきました。修学旅行当日までに、何度も地図を確認して準備をしてきましたが、計画通りに進まないのが現実です。様々なトラブルも、班で協力して解決することができていました。3日目は、クラス別のバス行動でした。どのコースも魅力的で、もっとじっくりと見学したかったという声が多かったです。能体験では、初めて見る面の長い歴史にとっても驚いている様子でした。

この2泊3日を通して多くの場面で成長を感じることができました。修学旅行で学んだことを、学校生活で活かしてほしいです。



能の基本体系

## 早坂のココロの声

美術部顧問の早坂です。1年生も入り、にぎやかになりました。会議や打ち合わせでなかなか部活に顔出せていないのが悩みです。そんな中でも、生徒達だけで体育大会の横断幕を仕上げました。自分たちでやるべき事を考えて取り組む姿は嬉しいです、ありがたい!

## 校外学習 鎌倉遠足（文責：鳥海）

本日快晴!! 古都を感じながら元気に鎌倉のまちを巡りました。

5月24日、鎌倉校外学習に行きました。当日は快晴どころか暑いくらいの日差しでしたが、班のメンバーで協力しつつ、自分たちで決めたコースを巡りました。計画した時間やルールを守ろうと試行錯誤している姿がほほえましかったです。学習テーマを決めて、フィールドワークを行ったので、それぞれの班の帰ってからの学習活動が楽しみです。昨年度のPAAからずいぶん成長した、さらに協力し合う姿を見ることができました。



大仏ポーズ



黙々と登ります

## Project ashigara adventure21（文責：早坂）

クラスの絆が深まった!! 1年生初めての校外学習

5月17日(金) 足柄にある県立21世紀の森PAA21ロープコースへ行きました。現地では、スタッフの方を中心に『1. マジ(本気) 2. みんな 3. 安全 4. 話す 5. 聞く』の約束を守ってアクティビティ。様々な課題を通して、クラスメイトとの交流を深めていきます。お昼休みを食った後は、午後からは班で協力しなければ達成できない難しい課題に取り組みます。生徒のふりかえりには、「みんなで協力して課題をクリアして、みんなで喜ぶのが嬉しかったです。初めの方はみんなバラバラだったけれど、最後の方で1つになって協力できました」。大自然の中、生徒達の充実した表情が、終始まぶしく輝いていました。



ビー玉おくり

## 泉区軽スポーツ大会（文責:校長）

今、自分達がやれること……。

5月25日の土曜日、真夏を思わせるような天気でも今年も泉区軽スポーツ大会が行われました。泉区全8校の中学校が参加、泉中も福祉委員会を中心に、54名の大勢の生徒が、ボランティアに自ら手を挙げてくれました。本校でのボランティア参加は、強制的なものはありません。防災もお祭りも、全て自主参加です。

青、目立つ

障がいがある方々や高齢者の方々のサポートの仕事。正直、未経験の生徒も多く、大丈夫かな、と校長として心配も……。ところが、なんのなんの、皆、事前に練習していたかのように、自らの役割を自覚し、活躍してくれました。高齢の方の手を引いて、トイレまで案内する生徒、玉入れでは落ちている玉を手渡ししてサポートに徹する生徒、一緒に走るときには、しっかり手を引いて。

自分達のやれること、「しっかり仕事してます」の目つき、顔つき、体つきでした。一生懸命のサポートに、お腹がすいたのか、区から支給されたカレーもペロリ。御代わりを用意出来なくて、本当に申し訳なく思いました。ごめんね。

泉区 全中学校の生徒の中で、ひと際目立ったブルーのジャージ。この日ばかりは、目に刺さるまぶしい青色が、私の、泉中の誇りでした。



## 野球部（文責:鳥海）

野球を通して人間的成長を目指す！

5月18日の日曜日、スタンドに腰かけるとすかさず「こんにちは！」と声。さすが、泉が丘中学校の礼儀の要である野球部、さわやかな挨拶です。今日は新田中学校との練習試合。スタンドから真っ白な泉中のユニホームが目立ちます。まだ5月なのに日差しが暑く、顔がジリジリします！

片桐監督率いる野球部のモットーは「礼儀や挨拶をまず大切にすること。野球を通して人間的成長を目指すこと。そのためにも学校生活をきちんとし皆から応援されるチームになることが大切。子どもたちも一生懸命やっているのだから一つひとつ勝てるように頑張りたい」とのことです。現に選手たちは礼儀正しいのはもちろんのこと、焦る場面ほど声を掛け合い懸命に試合をしていました。1試合目のラストはドキドキした展開になりましたが、ピッチャーの菅野さんが抑えて試合結果は6-5で泉が丘の勝利でした。



## 鳥海の目 〇〇<鳥海コラム>

野球部の試合を初めて見学していろいろ勉強になりました。中でも興味深いな~と思ったのは新田中学校の監督が仁王立ちで激を飛ばすのにたいして、クールに身振り指示を出す片桐先生。対照的過ぎて不思議な光景でした。指導スタイルもいろいろあるんですね。

この練習試合を見ていると全ての選手が出場しています。それには試合に出てこそ学べるということ片桐監督の想いがあります。また、レギュラーに裏方仕事を任せることで、出ていない子の気持ちをわかってもらうという意図があるそうなのです。監督として指示を出す一方で教員として生徒の成長を考えることが部活動なのだ勉強になりました。

夏の大会に向けてキャプテンの板倉さんは「野球部は全力挨拶を目標に、練習は厳しく、試合ではみんなで明るく結果をだせるように頑張っています。市大会優勝を目指して頑張ります」とのこと。ぜひ、みなさんも野球部の試合を観て応援してください！！

